

セ ポ ス



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2015.4 No.132

セガヤ

今月のトピック

特集●

子育てサロン「古民家 mamas」の「小さなネウボラ」
地域で子育てを支えよう

ボランティア

まちの市民力！ ● せたがや学生ボランティアセンター

キラリ世田谷人 ● 園 良太さん



イラストレーション● 山本陽光

東京生まれ。東京芸術大学大学院修士課程（中島研究室）修了。画家。制作活動に加え、子育てを機に子供の絵画教室、アトリエ mini をオープン。

●わたしの世田谷

三軒茶屋で育ちました。商店街を歩くと、店員さんが子供にも声をかけてくれます。公園や緑道では、四季を感じつつ親子で遊べます。カラフルな表情のあるステキな街です。

子育てサロン「古民家 mamas」の「小さなネウボラ」 地域で子育てを支えよう



(写真/松本のりこ)

「ネウボラ」。聞き慣れない言葉ですが、メディアにも取り上げられ最近少しずつあちこちで耳にするようになりました。福祉の国フィンランドで70年以上にわたって続けられている、切れ目のない「出産・子育て支援制度」です。世田谷でも区長が「ネウボラを参考にしたい」と発言しています。

「小さなネウボラ」のような活動をしている「古民家 mamas (ママス)」を訪ねてお話をうかがいました。

フィンランド発の「ネウボラ」

「ネウボラ (neuvoja)」とは、「アドバイス (neuvo)」する「場 (ja)」という意味。フィンランドには、妊娠の予兆がある時点から妊娠期間中、そして出産後も子どもが小学校に入学するまで、親と子どもを切れ目なく支える制度「ネウボラ」があります。担当の保健師（通称ネウボラおばさん）が相談にのり、継続的にサポートするので、信頼関係が築きやすく早期支援につながっています。

今でこそ、福祉の面でも「学力」でも世界でトップの先進国とされていますが、かつてはフィンランドもロシアから独立した1917年直後には内戦が起り、国民は戦いと貧困にあえいでいたといえます。戦争さなかの母子の惨状を見た小児科医や保健師が中心となり、母子支援の民間団体を立ち上げました。その理念は、個別の家族の経済状況によって支援対象を選別するのではなく、



衣する
の、
ちゃん
ていて
赤提
ち供
赤提
る無
えが
使品
ぐも
す子
後ケ
産ケ
出類
ベテ

すべての母子および家族を包み込む形での子ども家庭支援。そのためにも考案されたのが、乳児の衣類やケア製品を詰めあわせた「育児パッケージ」です。これが制度化されたのは1937年。270ユーロ相当の育児パッケージ（または現金140ユーロの選択式）は、妊婦検診への動機付けともなっています。育児パッケージがもらえることから「ネウボラ」に向かう、そうすればそこにはずっとつながる細かいケアが待っていて、親と子どもには安心できる場が保障される、というわけです。

「少子化」への切り札？

「少子化」「児童虐待」「母親の孤立・孤独」「子どもの貧困」……日本の子どもをめぐる言葉はあまり明るいものとは言えない状況にあつて、この「ネウボラ」が注目され、少子化に悩む自治体が「ネウボラ」的なものを導入しはじめています。浦安市では独自に認定した子育てケアマネジャーと保健師が中心になつて妊婦といつしよに「子育てケアプラン」を作成したり、産後に「こんにちは赤ちゃんギフト」を支給するなどの支援に取り組んでいます。

世田谷区は、世の中の傾向に反して子どもの数が年々増えているという「増子（ぞうし）化」の自治体。5歳以下の未就学児が年間1000人も増えるため、保育園をつくってもつくっても足りない、という事態になっています。2月2日の定例記者会見で保坂区長は「ネウボラ」のしくみを紹介

し、平成27年度中に、切れ目のない子育て支援に関わる検討会を設置して、「世田谷版ネウボラ・切れ目のない支援体制の構築をしていきたいと考えています」と意欲的です。東京都新年度から「東京版ネウボラ」として「産前産後から就学期までのすべての子育て家庭を支援する新制度をスタートさせる予定」と報じられています。

古民家ママスが蒔いた「ネウボラ」の種

実はこのネウボラが育つための「苗床」がすでに世田谷にはあります。世田谷線松蔭神社前駅近くの築160年の古民家、ここに6年前にオープンした小さい子どもをもつ親たちが過ごす場所「古民家ママス」がそれです。

慣れない子育てにひとりで向き合
わなくてはならないお母さんたちが
ホッとできる場をつくりたいと思つ
た吉原佐紀子さんが、オーナーさん



双子ちゃんをおんぶと抱っこして育休パパも参加

と話し合って、古民家を子育てで活かそうと始めました。「はいはい、たつちまでがオススメですが、2歳過ぎても、ママ自身が来たくて通ってくる母子、妊娠中の人もいます」と吉原さん。毎週月曜と金曜に親子が集い、訪ねたこの日は「指編み」が人気で、初めての参加者も含め、大賑わい。

3年ほど前にネウボラのことを知った吉原さんは、フィンランド語の通訳・翻訳者である坂根シルックさんに「すごく興味があります」と手紙を書き、『フィンランドと日本、私の子育て』を古民家で話してもらおう機会を設けました。そして昨年6月『ネウボラ・モデルを世田谷から』という勉強

会を古民家で開き、区長や区の職員、ネウボラを著書などでも紹介している吉備国際大学教授の高橋睦子さん、シルックさん等の話に30畳の部屋がギュウギュウになるほどの子連れのママ、パパたちが熱心に耳を傾けました。

さらに9月には昭和女子大学で、『ネウボラ・フォーラム（後援／世田谷区、協力／フィンランド大使館）』が開催され、より具体的な「世田谷版ネウボラ」のイメージが出てきました。「古民家ママスを始めたころには影も形もなかった『ネウボラ』が形をあらわし、ひとつになったのよね」と吉原さんは言います。

ネウボラおばさん、ここにあり

「小さなネウボラ」を実践してきた古民家ママス。始めるにあたっては地域で活動している人に声掛けをし、保育士、看護師、小学校の先生、子育て中のママ、という



古民家ママスのスタッフ
左から2番目が吉原さん

んな人たちが集まりました。「人数が少なくなると、不思議とピツタリの人をみつけてくるのよね」と吉原さん。でも、ここでは「専門性は忘れましょう。聴いて、受け入れるだけ。余計な口出しはしない」というのが「きまり」。専門性は密かにしておいて、共感できる「素人性」を活かすということです。世田谷版の「ネウボラおばさん」ここにあり、という感じ

です。育児パッケージがフィンランドのネウボラの動機付けであるよう



着物姿で赤ちゃん写真撮影

に、古民家ママスでは、大げさでなくプチイベントを数多く企画し、それがこの場へ親子をいざないます。例えば「着付け教室」では着物を着付けてもらい、着物姿で赤ちゃんを抱っこして、古民家の縁側で写真を撮ることができ、お母さんたちに大好評です。「小さなイベントでいいんです。花とそよ風があり、そこに季節があればそれだけで子どものことを小さくても大きい存在、と感じられるでしょう。折り紙を折ることひとつだつて素晴らしい。新しい価値に目覚めるための扉を開くのは私たちの役目」古民家は季節を感じるにはピッ

タリ。3月は雛飾りが古民家によく似合い、その隣には少し気の早い五月人形も並びました。季節を感じ、楽しむことができると、子育てに疲れたママも「これでいいんだ!」と自信と自身を取り戻すことができそうです。

ひとつつながりは、人つながり

ネウボラは、妊娠・出産・子育ての切れ目のない、ひとつつながりの支援です。「でもひとつつながりて、まさに人つながりなのよね」と、吉原さんはしみじみと言います。人が出会って、人が人を呼び、それぞれが個性を発揮する姿を古民家ママスで日々実感しているからです。

「支援のしくみづくりには、ぜひ民間の支援者を活かしてほしい。うまく連携していくためには、実際に動いている人を起用するのがいいんです。それがなかったら必要な人に必要なケアが届きませ

ん。行政に相談に行くにも、よくわかっていない人がお母さんに付き添っていかないと、母子が放置されてしまいます。制度の合間合間に人がいないと制度は動きません」古民家ママスの取り組みをモデルに「世田谷版ネウボラ」を模索し、区内のさまざまな場に「小さなネウボラ」をつくっていく、そのためにはもちろん「人」が不可欠です。「ネウボラおぼさん、増殖計画!」を合言葉にしたいですね。

この古民家、残念ながら取り壊しのため3月末をもって使うことができなくなりました。でも吉原さんはいいます。「ここをフルに6年間活用できたので、きつと建物も喜んでくれると思います。どんなところに行つてもそこをママスの場に変えていく自信があります」名残は尽きませんが、どこであっても古民家ママスらしく、ママと赤ちゃんが主役の場であつて欲しい、と思うことしきりです。

(取材/星野弥生)



大学の枠をこえて、地域とつながる

せたがや学生 ボランティアセンター

まちの 市民力!!

取材・市川 徹

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



今回の取材（3月時点）に
じてくれたのは、青山学院大学
4年生で松下泰樹さん（「セボネ
2015年6月号」にも登場）と
駒澤大学2年生の新井優和さん、
昭和女子大学1年生の林由莉さ
んと細淵由真さんの4人。このよ
うに、世田谷区内の大学から学部
学年関係なく、ボランティアに興
味のある学生が集まって活動して
います。今では約30名の大所帯！
せたがや学生ボランティアセン
ターは、2014年4月の世田谷
ボランティア協会の事業がきつか
けで集まった学生たちが中心と
なって立ち上げました。特徴は、
メインの活動テーマがあるわけで

なく、月2回のミーティングをベ
スにメンバーのやりたいことをも
とに話し合い、活動が決まってい
くところ。ボランティア経験の有
無は関係なく参加できるので、友
人に誘われてきた人など、途中か
らの参加も多いそう。活動開始か
らまだ1年ですが、すでに学生交
流会を区内の大学で3回実施、ま
ち歩きやごはん会、全国学生ボラ
ンティアフォーラムやおたがいさ
まフェスタへの参加など、積極的
に活動しています。
団体立ち上げの中心になった松
下さんによると、名前に「センター」
と付けたのは「いずれは学生と地
域をマッチングする機能を果たし
たい」という想いから。松下さん

が東北の被災地支援に関わった経
験から、災害時に学生の力を生か
すためには日頃から地域との関わ
りを持つことが必要だと気づきま
した。とはいえ、いきなり学生に
「地域に関わろう」と言っても、経
験のない学生には唐突なので、ま
ずは自分の興味関心ややりたいこ
とを大切にしてもらい、活動して
いく中で地域と接する機会を持て
ればと考えています。1年生の2
人は「他大学の人や学年の違う人
と出会い、話ができるので、自分
が知らなかったことに気づき、世
界を広げられるのが魅力」と話し
ます。
新入生や後輩に向けて、松下さ
んは「今までやってきた活動だか
らとそのまま続けるのではなく、ど
んどん新しい価値を創造し続けて
ほしい!」と話します。林さんは、
「何か始めたい人や、もやもやして
いる人にこそ参加してほしい!」
とのこと。学生のみなさんはぜひ
一度参加してみてください!



(写真/レイバーネット日本より)

僕らがつながれば世界は変えられる

園 良太 さん
その りょうた

や
せた人が
キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵なたを
ご紹介します
取材●迫 雅之

その後、下北沢道路開発反対運動、フリーター労働組合結成も経験。出版社で編集の仕事に就きました

が、倒産とい

松原で生まれ、今も世田谷に住み続ける園さん、33才。サッカー少年でしたが、高校生の時、世間ではいじめなどの事件が多くとりあげられ、社会問題に目覚めました。そして、社会学の勉強のため大学に入学後、世界を震撼させた「9・11」が勃発、イラク戦争が始まりました。社会問題、政治問題への意識が高かったせいか、いたたまれなくなつてピースウォークやイラク戦争反対運動に取り組みました。

「ちょうど、就職活動の時期だったのですが、就職試験にことごとく落ちちゃいまして、フリーターを選択せざるを得ませんでした」

う苦い経験も味わいました。

現在、園さんは介護士の資格を取り、障がい者の介助をしています。それで生計を立てながら、原発廃炉、集団的自衛権の閣議決定の撤回、秘密保護法の廃棄、ブラック企業の追及。そして、東電本社前デモや辺野古リレーなど、多岐にわたる社会運動に取り組んでいます。

最近の心境を聞いてみました。

「ドイツのメディアにインタビューされて確信したことがあります。海外メディアは、権力批判が常識です。政府も情報公開し、判断を市民に委ねる。しかし、日本のメ

ディアは自己規制がはなはだし。政府も隠すし、説明責任をまったく果たしていません。僕ら若者の情報ソースは、仲間やミニコミ紙、地方の地元紙、ネットです」と語り、twitterなどの新しいツールをつかつて自ら積極的に発信し続けています。

「僕らの世代は東京の将来に絶望しています。しかし、ひとりひとりが自立し、助け合い、社会や政治の課題を語り合うことから東京の中に『地域社会』ができるのではないかと最近思うようになってきました」と話します。そして、「これまで社会問題に取り組んできた団塊の世代の方がたにお願いがあります。みなさんの意志を若者に引き継ぐためにも、話し合える場を提供していただけないでしょうか？ 世田谷には空き家が多いと聞きます。安く提供してもらえると助かります」と語る園さん。さて、この言葉にみなさん、どう応えますか？

*沿線別にイベントやボランティア
情報を入れていきます。
詳細はP10～15をご覧ください。

優れたドキュメンタリー映画を観る会
4/18～25 下高井戸シネマ P13

～命つながるお話会～
「防災 今、この時、大地震に遭遇したら？」
4/26(日) 15時～17時
ふくしまオルガン堂 P14

【ひと】と【まち】に出会う
代田・梅丘編～
(月) 13時半～16時半
ボランティアビューロー P14

●小田急線沿線

- ☆フリースクールのボランティア募集 詳細 P11
- ☆放課後等デイサービスボランティア募集 詳細 P11
- ☆ボランティア拠点でのアルバイト募集 詳細 P12
- ☆中1男子の車いすの校内付き添い募集 詳細 P12
- ☆視覚障がいのある女性の通院付き添い 詳細 P12

ボランティア・ファシリテータ養成講座
4/24 10時～17時 サポコハウス
アフターサポートせたがや P13

ボラセン歌声ひろば
4/15(水) 10時半～12時
世田谷ボランティアセンター P13

陽々わくわくシアター 2015
(日) 11時～15時
苑前けやき広場
子ども劇場せたがや P14

世田谷こどもいのちのネットワーク学習会
おさかなクンたいじょうぶ? part 4
4/11(土) 13時半～16時半
世田谷ボランティアセンター P13

【助成】世田谷まちづくりファンド
事前相談 2/16～4/17
応募締切 4/30(木) 郵送必着
世田谷トラストまちづくり 詳細P 15

おたが
さいが
さMAP
AP

OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

もっと語ろう不登校 part190
4/18 (土) 14時～
NPO 僕んち P 14

●京王線沿線

- ☆小2男子の学習支援ボランティア募集 詳細 P10
- ☆将棋が好きな方、大募集 詳細 P10

ここからカフェ
4/18 (土) 13時～15時
上北沢ふれあいの家 P15

世田谷で
ツアー
4/27
代田ボラ

●世田谷線沿線

- ☆小2男子の学習支援ボランティア募集 詳細 P10

ボランテ
5/9、17
グリー

●東急線沿線

- ☆近隣への買い物の同行をしてくださる方募集 詳細 P10
- ☆小3男子の通級の送迎サポート募集 詳細 P10
- ☆近隣への外出に同行してくださる方募集 詳細 P10
- ☆80代女性のお散歩の付き添い募集 詳細 P11
- ☆高齢者への配食弁当の配達スタッフ募集 詳細 P12
- ☆高齢者のためのお弁当の配達員募集 詳細 P12

こども劇
4/26 (土)
馬事公
NPOこと

- 京王線沿線
- 小田急線沿線
- 世田谷線沿線
- 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。

他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。

★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご活用ください。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

ボランティア求む

京世 小2男子の学習支援ボランティア募集

区内の小学校に通う小学2年生男子の授業サポートをしてくれる方を探しています。通常学級での授業ですが、気になることがあると、本人の気がそれてしまうことがあります。隣から「今はこれをしようね」といった声かけをする

子どもが好きな方、お待ちしています。

●日時/月曜日～金曜日で週1～2日程度(45分授業を1～2コマ) ※活動日時は応相談、週1日だけでも可。

●場所/下高井戸駅近くの区立小学校

●募集人数/3～5名

●問合せ/梅丘ボランティアビューロー
TEL 3420・2520
umebora@otagaisama.or.jp

と本人もやる気を出して、みんなと一緒に勉強することができま

●問合せ/梅丘ボランティアビューロー
TEL 3420・2520
umebora@otagaisama.or.jp

東 近隣への買い物同行して下さる方募集

等々力7丁目にお住まいの80代の女性が近隣(スーパーや二子玉川の高島屋など)への買い物に同行をして下さる女性の方を探しています。

●日時/平日でも、土日でも可。日中の1時間半くらい(応相談)

●条件/尾山台駅徒歩10分
●条件/女性
●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp

数か月前に庄迫骨折をし、現在リハビリをしています。ゆっくりであれば歩けますが、外出には車いすを利用しています。

●条件/女性
●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp

東 小3男子の通級の送迎をサポートしてくれる方募集

小学校3年生の男の子が、通級(他の学校に特定の時間だけ通う)の送迎をサポートしてくれる方を求めています。両親は働いているためどうしてもできません。明るく元気なお話し好きなお子さんです。子どもが好んで健康な方、お待ちしています。

行き、等々力小学校まで送りどける。徒歩20分程度。

●日時/月曜日、11時半頃
●条件/性別不問。交通費応相談。
●問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tanabora@otagaisama.or.jp

●内容/尾山台小学校にお迎えに

東 近隣への外出に同行して下さる方募集

弦巻4丁目にお住まいの認知症初期症状のある女性が近隣への散歩に同行して下さる女性の方を探しています。

●日時/平日でも、土日でも可。日中の1時間くらい(応相談)

●条件/女性
●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp

が難しいため、同行して下さる方を探しています。1時間くらい近くのお店に買い物に行ったりきたらと思っています。周りへの注意がなくなってしまう時があり、道路を渡るときなど少し心配で、ちょっとした声かけを必要と

しています。楽しく会話をしながら散歩を楽しめたらと思います。時間は、ご協力いただける方のご都合に合わせて決めたいと思います。ゆっくりと関わって下さる方を探しています。

●条件/女性
●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp

将棋が好きな方、大募集!

京
 デイ・ホーム千歳では、利用者(高齢者)の将棋のお相手をして下さる方を募集しています。みなさん、将棋が大好きな方です。お話し好きな方が多く、難しいコミュニケーション技術は必要ありません。どうぞ、お気軽にご連絡ください!

●日時/月曜・土曜 13時~15時

小京 フリースクールのボランティア募集

子どもたち・若者の居場所、手づくりの育ちの場として20年運営してきましたが、近年、更にこうした学校外の場の必要が高まってきています。平日の昼間動ける、子ども好きな方を求めています。

●内容/子どもたちとのものづくり、料理、スポーツ、音楽、語り

東 80代女性のお散歩の付き添い募集

等々力に住む80代の女性が、お散歩の付き添いを求めています。普段は施設で生活していますが、少しの認知症があり、ひとりで外出ができません。足取りも会話もしっかりしている元気な方です。一緒にのんびりお散歩を楽しんでくれる方をお待ちしています。

●日時/平日の昼間30~40分程度

(他の曜日・時間帯でも応相談)

●交通/千歳馬山駅発 北野行関東バスで10分 給田境徒歩2分
 ●問合せ/デイ・ホーム千歳 担当 新田・氏家
 TEL 33307・2282
 chitoseonu@keisinen.or.jp
<http://www.keisinen.or.jp/chitose/>

小京 フリースクールのボランティア募集

り合い、おでかけ、イベント、教材づくり、通信の編集管理など。

●場所/フリースクール僕んち
 ●交通/梅ヶ丘駅、東松原駅徒歩10分
 ●問合せ/フリースクール僕んち
 TEL 33327・7142

東 80代女性のお散歩の付き添い募集

月1回から。
 ●条件/ヘルパー有資格者。年齢60代くらいまでの方。性別不問。
 ●条件/交通費支給
 ●問合せ/玉川ボランティアビューロー
 TEL 3707・3020
tamboura@otagaisama.or.jp

小 放課後等デイサービス ボランティア募集

放課後等デイサービス「そののいる」がオープンしました。小学生~高校生までの障がいのある子どもたちが、放課後や長期休暇中、遊びや集団生活を通して、生活の向上を図ります。学校へのお迎え、夕食の提供なども行っています。

春爛漫、子どもたちとお散歩やお出かけ、見守りなどをしてくれるボランティアを募集しています。

仕分けボランティア募集

国際協力NGO・シャプランニールでは、書き損じはがきや切手などを回収し海外協力に役立てる「ステナイ生活」を行っています。届いたはがきなどの仕分けやカウントをお手伝いいたたくボランティアを募集します。ボランティアを始めたい方、海外協力に関心をお持ちの方、仲間とわいわい作業するのが好きな方など、ぜひご参加ください。皆さまのご参加をお待ちしています。

●内容/全国から届く寄付品(はがき、切手など)の仕分けやカウントなどの作業

小 放課後等デイサービス ボランティア募集

ます。子どもたちもボランティアさんが来てくれるのを待っています。お気軽にお問合せください!

●日時/平日15時~18時、土・休日・長期休みは11時~18時
 ※日時は相談・調整可
 ●交通/梅ヶ丘駅徒歩1分
 ●問合せ/そののいる
 TEL 6413・1610
<http://soranoiro.jp/>

仕分けボランティア募集

●日時/火曜~土曜日の10時~18時の間(※日、月、祝日を除く)
 ●場所/シャプランニール東京事務所
 ●交通/東西線早稲田駅徒歩5分、副都心線西早稲田駅徒歩8分、JR高田馬場駅からバス5分
 ●募集人数/各日5名程度
 ●条件/定期的に来て頂ける方を
 ●問合せ/特定非営利活動法人シャプランニール市民による海外協力の会 担当 上嶋
 TEL 3202・7863
sutenai@shaplanner.org
<http://www.shaplanner.org/>

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

有償スタッフ募集

ボランティア拠点でのアルバイト募集

世田谷の地域ボランティア拠点で、ボランティアに関する相談業務や、講座など事業の企画立案・実施など、ボランティア活動推進のための事業にかかわるスタッフを募集しています。

- 勤務地/代田ボランティアアビュ
ーロー(代田2・20・6)
- 交通/世田谷代田駅徒歩1分
- 期間/4月以降〜2016年3
月31日まで(年度ごとの契約
更新あり)
- 勤務日時/月曜〜土曜日のうち
週3日程度(土曜は月1〜2回)
9時55分〜17時10分

小京 中学1年生の車いす生徒の校内付き添い募集

中学1年生の車いす利用の男子生徒を学校内で見守り・介助をしてくれる方を探しています。

- 中学校生活を充実させるために、応援してくれる方はお気軽にご連絡ください。
- 日時/曜日等は応相談 1時限
〜6時限
- 場所/世田谷区立梅丘中学校

●待遇/時給920円(交通費実
費支給、雇用保険あり)

●条件/20歳以上で人とかかわる
ことが好き、好奇心旺盛、地域
のために何か始めたいという方
●応募/履歴書(写真貼付)と
作文(応募の動機12000字程
度)を郵送または持参

1次選考/書類、2次選考/面
接(4月下旬)

●締切/4月17日(金) 必着

●郵送先・問合せ/世田谷ボラン
ティア協会 スタッフ採用係
TEL 5712・5101
世田谷区下馬2・20・14
setabora@otagaisama.or.jp

●交通/小田急線梅ヶ丘駅徒歩4
分、京王井の頭線東松原駅徒歩
8分

●条件/時給970円、交通費応
相談

●問合せ/世田谷ボランティアセ
ンター 担当 高橋
TEL 5712・5101
setabora@otagaisama.or.jp

視覚障がいのある女性の通院の付き添い募集

ほほえみ経堂に通所している、
視覚障害がある女性が、主に通院
する時に同行してくださる人を探
しています。通常の通院にはヘル
パーを利用してはいますが、風邪を
ひいた場合など、緊急で一緒に通
院して頂ける人を探しています。
お願ひしたい時に時間が空いてい
た場合に、手をお貸しください。
お気軽にお問い合わせ下さい。

- 日時/1回2時間(不定期)
- 交通/自宅最寄り駅は経堂駅
- 条件/世田谷区障害者緊急介護
人派遣制度に登録いただくこと
1時間1000円支給されます。
交通費は依頼者が負担します。
- 問合せ/ほほえみ経堂
担当 久我
TEL 5451・5151
spf3dt9@diary.ocn.ne.jp

高齢者への配食弁当の配達スタッフ募集

地域の主婦らが手づくりしたお
弁当を、ひとり乗りの電気自動車
を使ってひとり暮らし等の高齢者
の自宅へ配達して下さる方を募
集します。

- 日時/月曜〜金曜、15時半〜17
時半 週1日から応相談
- 場所/上用賀6丁目の拠点から
出発

●条件/普通運転免許のある方、
謝礼あり

●問合せ/老人給食協会ふぎの
とう 担当 佐野
TEL 3706・2545
sano@mow.jp
http://blog.canpan.info/
fukinotou/

高齢者のためのお弁当配達員募集

地域のひとり暮らしの高齢者
で、病気等を理由に食事づくりが
できない・買い物に行けない方を
対象に、鎌田ケアセンターにつく
った夕食を自転車(または車)で
配達をしていただく仕事です。

- 場所/世田谷区鎌田・宇奈根・
喜多見・岡本
- 条件/1食につき250円
(1日の配達は4食まで)
- 問合せ/鎌田ケアセンター
担当 田中
TEL 3709・9611

講座・その他・募集

東 ボランテニア・ファシリテータ養成講座

グリーフサポートせたがやでは、「ボランテニア・ファシリテータ」の養成講座を開催します。ボランテニア・ファシリテータの役割は安心・安全な場所を参加者とともに作ることです。講座では、グリーフ（喪失体験に起因する様々な感情的・身体的反応）を抱えた子どもや大人のサポートをするために必要な考え方やスキルについて学びます。また、ご自身の価値観やグリーフと向き合い、自分と他者を尊重し、参加者の力を信頼して委ねることを実践的に体験する機会です。多くの方のご参加をお待ちしています。

●日時／5月9日(土)、17日(日)、24日(日) 10時〜17時

●場所／サポコハウス(世田谷区太子堂5-24-201)

●交通／三軒茶屋駅徒歩15分

●参加費／15000円(ランチつき) + テキスト代

●対象／グリーフサポートせたがやの活動に関心があり、毎月開催するサポートプログラムに関わる方

●募集人数／10名

●問合せ／グリーフサポートせたがや

TEL 6453・4925
grietsetagaya@yahoo.co.jp
<http://www.sapoko.org>

東 ボラセン歌声ひろば

みんなで歌を歌ってみたい方、歌うことで気持ちを発散させたい方、ぜひ一緒に歌いに来ませんか? どなたでも参加できます。事前申込み不要です。

●日時／4月15日(水) 10時半〜12時 毎月第3水曜日

●場所／世田谷ボランテニアセンター

●参加費／3000円(茶菓子代)

●問合せ／世田谷ボランテニア協会をささえる会 担当 北嶋

TEL 5712・5101

京世「優れたドキュメンタリー映画を観る会」開催

毎年この時期に、劇場では見る機会の少ないドキュメンタリー映画の上映をします。4月18日から25日の朝と夜の8日間です。

戦後70年、沖縄復帰から43年の今年は『来し方、行く末』をテーマに、この国と、この国に住む人びとをさまざまな角度から追ったドキュメンタリーフィルム12作品が、現在、過去そして未来を紡ぎます。上映作品等、詳細は劇場へお問合せいただくか、「下高井戸シネマ」で検索ください。

①●公開前夜祭／『ASAHIZ A人間は、どこへ行く』の上映と監督トークショー(150席)

●場所／下高井戸シネマ

●交通／下高井戸駅徒歩2分

●問合せ／下高井戸シネマ

TEL 33228・1008
<http://www.shinotakaidocinema.com/>

東 世田谷こどもいのちのネットワーク 学習会

海だけでなく、地球全体が本当に危なくなっている今、国際環境NGOグリーンピース・ジャパンといっしょに考えましょう。これから地球を担っていく世代、若い方々にぜひとも聴いていただきたいと思っています。もちろん親子連れで参加OK、お待ちしています!

●日時／4月11日(土) 13時半〜16時半(開場13時)

●場所／世田谷ボランテニアセンター

●参加費／5000円(会員無料)

●共催／グリーンピース・ジャパン
主催・問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク

TEL 3427・8447

講座・その他・募集

世田谷線沿線
東急線沿線

小 世田谷で【ひと】と【まち】に出会うツアー ～代田・梅丘編～

新緑の北沢川緑道を散策しながら、ブルーパーク発祥の地・羽根木ブルーパークを訪ねたり、福祉作業所の裁縫工房やさをり織り工房を見学したり…。ティータムは北沢川緑道に面し木々の眺めも素敵な喫茶ぶらたなすにて♪
新しく何か始めてみたい方、地域の事をもっと知りたい方、地域に仲間を増やしたい方、ぜひ一緒に【代田・梅丘】のまちを歩いてみませんか？

※事前に各自ボランティア保険に

小京 「もっこ語ろっ不登校 part.1-60」

これまで20年にわたって、さまざまな方がたの分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方もお誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

- 日時/4月18日(土) 14時～
- 場所/NPO僕んち

小

ご加入ください。代田ボランティアアビュローで手続できます。

- 日時/4月27日(月) 13時半～16時半(小雨決行、荒天時中止)
- 場所/代田ボランティアアビュローにて集合・解散
- 参加費/無料(ただし、喫茶ぶらたなすでは、各自費用負担)
- 問合せ/代田ボランティアアビュロー
TEL 3419・4545
databora@tagaisana.or.jp

小

- 参加費/300円(カンパ歓迎)
- 交通/小田急線梅ヶ丘駅 井の頭線東松原駅 徒歩10分
- 問合せ/世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もっこ語ろっ不登校」担当 高橋
TEL 3327・7142

小 こども劇場「わくわくシアター2015」

こども劇場せたがやは「子どもと文化と地域がつながる」ことを願って、活動しているNPOです。子どもも大人も同じ市民としてもにつくる地域のお祭り、野外ステージ、子どものアート体験、段ボール迷路、模擬店など楽しい催し物いっぱいお待ちしております。ぜひお出かけください。

- 日時/4月26日(日) 11時～15時
- 場所/馬事公苑前けやき広場
- 交通/経堂駅または千歳船橋駅 徒歩15分
- 問合せ/NPO法人こども劇場 せたがや 担当 大野
TEL 3422・8628
http://www.kogeki-setagaya.org/

小 ～命つながるお話し～ 『防災 今、この時、大地震に遭遇したら?』

月1回の連続講座『～命つながるお話し～』が、3月29日から「ふくしまオルガン堂下北沢」で始まりました。特製スイーツを食べながらの少人数の集まりの予定です。

時/17時「福島からの避難者が伝えたいこと」、5月31日(日)15時/17時「避難所まで歩いてみよう」

- 【第一期 防災『今、この時、大地震に遭遇したら?』】
オルガン堂で首都直下型地震に遭遇した時に「どうする?」「どのように逃げる?」など、福島での体験を踏まえ、自分たち自身の防災につけて考えます。
- 日時・内容/4月26日(日) 15時
- 場所/ふくしまオルガン堂
- 交通/下北沢駅 徒歩12分
- 参加費/1回1500円
- 定員/各回15名(要予約、先着順)
- 問合せ/ふくしまオルガン堂
TEL 3411・7205
organ@fukushima-yuukinet
http://fukushima-yuukinet.org/

東 せたがやチャイルドライン公開講座

せたがやチャイルドラインは、18才までの子どものための電話の活動をしています。子どもと直接関わってきた講師陣の生の声やワークを体験して、せたがやチャイルドラインの「聴く」を体感してみませんか。公開講座は興味のある回だけでも、どなたでも参加できます。

子どもからの電話を受ける「受け手」になることを希望される方は、公開講座を全回参加していただく秋に行われる第20期受け手養成専修講座の受講資格が得られます。電話の受け手はすべてボランティアで運営していて、最近受け手が不足しています！ぜひ参加してください。

京 二〇二からカフェ
毎月第3土曜日に多彩なゲストを招き、ここからただの健康について考える「ここからカフェ」をひらいています。4月は音楽療法です。どなたでもお気軽にご参加ください。

●日時／4月18日(土) 13時～15時(12時半受付開始)

●日時／5月29日(金)、6月5日、12日、19日、25日(木)、7月4日(土)、17日(金)、24日、31日 主に金曜日 全9回 19時～21時半

●場所／世田谷ボランティアセンター
●参加費／1回2000円(学生半額)、9回一括17000円
●定員／30名程度
●申込み／メールまたはFAX
●問合せ／せたがやチャイルドライン事務局

TEL 5712・5101
FAX 3410・3811
childline@otagaisama.or.jp
http://blog.canpan.info/setagaya-ci

●場所／上北沢ふれあいの家
●交通／上北沢駅徒歩7分
●参加費／500円
●申込み／申込み不要、直接会場へ。ただし保育は要事前申込みセンター
●問合せ／せたがや福祉サポートセンター
TEL 6407・0086

助成

第23回公益信託世田谷まちづくりファンド

「世田谷まちづくりファンド」は、「世田谷区を対象とした住みよい環境づくりにつながるまちづくり活動」に助成する制度です。活動のきっかけは、モノづくりや環境づくりに限らず幅広い動機や目的のものを含みますが、助成する活動は将来的にその成果が地域の住みよい環境づくりにつながるものを対象とします。

●はじめの一步部門
これからまちづくりの第一歩を踏み出そうとしているグループ活動に対して助成
助成額／一律5万円/件
●まちづくり活動部門
地域の住みよい環境づくりにめざす住民グループのさまざまなまちづくり活動に対して助成
助成額／5～50万円/件
●10代まちづくり部門
10代のみなさんが自分たちで考へるより良いまちをめざしたまちづくり活動に対して助成
助成額／10万円以内/件
●(特別部門) 災害対策・復興まちづくり部門
東北の被災地と連携した活動を

通して東日本大震災の復興まちづくりに学び、世田谷の災害対策などを市民サイドから提言し、区民と分かち合う住民主体のまちづくり活動に助成
助成総額／300万円まで
●応募事前相談／2月16日(月)～4月17日(金)(土日祝日を除く)9時～17時、1団体1時間程度。事前にもまちづくりファンド担当(TEL 6407・3313)まで要電話予約。

●事前相談場所／北沢タウンホール7階 財団事務所
●応募方法／所定の応募用紙(ホームページよりダウンロード)に必要な事項を記入のうえ郵送
●応募期間／4月20日(月)～4月30日(木)【郵送必着】

●郵送先・問合せ／三井住友信託銀行リテール受託事業部 公益信託グループ 公益信託世田谷まちづくりファンド担当
TEL 5232・8910
東京都港区芝3-33-1
http://www.setagayam.or.jp/trust/fund/application.html

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にするとところ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒158-0083 奥沢8-13-10 TEL (5829)8741 FAX (5829)8743

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬2-20-9 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒158-0083 奥沢8-13-10 TEL (5829)8742 FAX (5829)8743

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

春はボランティア活動希望者からの相談が増えます。子どもの通学付き添いや学習支援、高齢者のお散歩・外出の付き添い募集の相談も多く寄せられています。気持ちのいい季節、何か始めてみませんか?

◆ふらっと&withより

こころ浮き立つ卯月、春探しのプチ旅が続くふらっと・withの日常です。外出時のボランティアをお待ちしております。

◆チャイルドラインより

新学期を迎え、新しい友達や先生との関係で子どもも日々緊張。チャイルドラインはなんでも話せる電話です。受け手養成講座の前半5月29日~7月31日は公開講座なので、希望回のみでもご参加いただけます。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます!世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

■妊娠期を振り返ると、まずはお産のことばかり気になって、産後の育児のことまで考えられなかったのですが、妊娠期からの一貫したサポートがあれば心強いと思いました。赤ちゃん連れの外出は大変なので、子連れで気軽に立ち寄れるところが近所にあるとホッとしますね。ネウボラ、今後も注目です!

■3月15日のおたがいきまフェスタにご来場いただいた皆様、ありがとうございました! おかげさまで無事に終えることができ、高校生・大学生から60~70代まで、多数のボランティアのご協力にあらためて心より感謝いたします。

■長男・次男あわせて7年間の保育園送迎を終えました。いとおしくかけがえのない時間をかみしめた3月でした。(み)

●発行

社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811

●E-MAIL

setabora@otagaisama.or.jp

●ホームページ

<http://www.otagaisama.or.jp/>

●発行人

興柁 寛